

ねっとわあく

231
MARCH



CONTENTS

●2014年賀詞交歓会.....	2	・第5回介護福祉部会.....	5
●機関会議報告		●県消団連活動報告	
・第8回理事会.....	2	・第9回幹事会.....	6
・下期研修会.....	3	●協同組合間活動報告	
・長野県生協災害対策協議会.....	3	・国際協力田米発送式・学習会.....	6
・防災学習会・クロスロードゲーム ファシリテーター養成講座.....	4	●その他活動	
●部会等活動報告		・土壌スクリーニングボランティア.....	7
・第1回医療部会.....	5	・厚生労働大臣表彰受賞祝賀会.....	8
・長野市と介護福祉部会との懇談.....	5	●INFORMATION	8

2014年 賀詞交歓会

2014年賀詞交歓会を開催しました

日時：1月24日(金) 17時00分～18時45分

場所：ホテルメトロポリタン長野 3階浅間の間
(長野市)

出席：90名(県行政、国会・県議会議員、協同組合間、友誼団体、報道各社、長野県虹の会(お取引先様)、会員生協の役職員 他)

内容：冒頭、小松由人専務代行の開会挨拶、上田均会長理事の主催者挨拶の後、ご来賓の加藤さゆり長野県副知事、長野県農業協同組合中央会の春日十三男専務理事、日本労働組合総連合会長野県連合会(連合長野)中山千弘会長よりご挨拶をいただきました。

続いて、才川理恵理事が日本生協連浅田克己会長からの祝辞を代読し、長野県虹の会の大谷昌史代表世話人(信越明星株式会社代表取締役社長)に乾杯の発声をいただいて、歓談に入りました。

乾杯後には、公務により遅れてご出席をいただきました務台俊介衆議院議員、小松裕衆議院議員、また、山内寛日本生協連中央地連事務局長、鵜飼照喜長野県消費者団体連絡協議会会長よりご挨拶を賜り交歓会が進められました。

結びには、全国農業協同組合連合会長野県本部(JA全農長野)の高木幸一郎本部長の中締めにて、風間広康副会長理事が閉会挨拶を行い、盛会のうちにお開きとなりました。



加藤さゆり
長野県副知事



春日十三男
JA長野中央会専務理事



中山千弘
連合長野会長

機関会議報告

第8回理事会を開催しました

日時：2月18日(火) 12時35分～14時30分

場所：ホテルメトロポリタン長野 3階戸隠の間(長野市)

出席：10名(理事9名：監事1名)

内容：冒頭、2月14日～16日の大雪の影響等について、出席の理事・監事より会員生協の状況について報告がありました。

以下の案件について審議を行い、承認しました。

- (1) 2013年度活動のまとめ(第1次案)及び決算見直し
- (2) 県生協連第12次中期3ヵ年計画(第2次案)
- (3) 2014年度活動方針(第1次案)
- (4) 2014年度県生協連会議日程(第1次案)
- (5) 第63回通常総会議案書の構成及び作成スケジュール
- (6) 平成26年度長野県食品衛生監視指導計画(案)に対する意見
- (7) 「福島の子ども保養プロジェクト」夏休み県外受け入れ企画
- (8) 土壌スクリーニング2014年度ボランティアの募集

続いて、第7回理事会以降の機関会議、活動報告や行政・他団体から提供された情報を報告し、すべて承認されました。

1月24日第9回常任理事会、2月4日第10回常任理事会を開催し、第8回理事会の審議事項等の検討を行いました。



下期研修会を開催しました

日時：1月24日(金) 13時30分～16時30分

場所：ホテルメトロポリタン長野 2階梓の間(長野市)

出席：48名(会員生協、関係団体、お取引先他)

内容：冒頭、上田均会長理事より挨拶があり、講演の第1部では、岩手県陸前高田被災地語り部の釘子明代表より、被災当時の状況を多数のリアルな映像と説明でお聞きし、ご自身が避難所を立ち上げ運営に携わった経験をお話いただきました。陸前高田市第一中学校の避難所は一時1000人近い被災者が集まり、地区別の集団を作り、互いに助け合える運営をし、水の確保や名簿の整理、マスコミ対応など当事者でなければ分からない状況を語っていただきました。そして、その震災の経験が全国の自治体や地域で生かされているか？他人事ととらえていないか？自分の地域の避難所の安全性や設備を真剣に確認したことがあるか？と問いかけられ、家族同士で万が一離れ離れになった際の避難場所を2～3カ所決めておくことの大切さなど、私たち一人一人が受け止めなければならない教訓について分かりやすく講演をいただきました。



講演の第2部では、(財)長野経済研究所の小澤吉則調査部長より「長野県経済の現状と2014年の見通し」と題し、「最近の経済見通し」「経済回復の要因」「2014年の経済見通し」「我々の成長戦略」「やはり求められるファンづくり(どのようにお客様のニーズを探るのか、ニッチ企業に学ぶお客様を良く知ること、増加するお客様(シニア層)に向けて一考)」という視点で講演をいただき、県内の経済情勢では、水面下ながらも回復に転じていること、県内企業のアベノミクスに対する評価や自社の業績の変化など調査データに基づき、わかりやすく説明をいただきました。



陸前高田被災地語り部
釘子 明代表

長野経済研究所
小澤吉則調査部長

長野県生協災害対策協議会を開催しました

日時：2月14日(金) 10時30分～11時40分

場所：生活協同組合コープながの 2階A会議室(長野市)

出席：8名(生活クラブ生協長野、長野医療生協、コープながの、信州大学生協、全労済長野県本部、県生協連事務局)

内容：開会に先立ち、宮下英夫委員長(生活クラブ生協長野)が挨拶を行い、議長を務め議事進行を行いました。

1. 事務局が以下の報告を行い確認しました。
 - (1) 2013年度第1回長野県生協災害対策協議会
 - (2) 2013年度の主だった活動の取り組み
 - 災害時想定通信訓練
 - 長野県総合防災訓練
 - 防災学習会・クロスロードゲームファシリテーター養成講座
2. 事務局が以下の提案を行い協議を行いました。
 - (1) 2013年度の活動のまとめと2014年度の活動方針(案)について
3. 以下の事項について意見交換を行いました。
 - (1) 2013年度の会員生協の災害復興支援及び防災(災害対策)の取り組みや2014年度の取り組みについて



防災学習会・クロスロードゲームファシリテーター養成講座を開催しました

日時：2月3日(月) 10時00分～15時30分

(1) 防災学習会 (10時～12時30分)

(2) 養成講座 (13時30分～15時30分)

場所：ホテルメトロポリタン長野 2階梓の間 (長野市)

出席：(1) 防災学習会

県行政、8 会員生協役職員、県連役職員41名

(2) 養成講座

県行政、6 会員生協役職員、県連役職員35名

内容：◆防災学習会

日本生活協同組合連合会法務・危機管理室の水島重光氏を講師に、まずは、東日本大震災の約500kmにわたる海岸被害や大規模地震の概要、南海トラフの震度分布に基づくライフラインなどの被害想定について認識を深め、続いて、各組織における事業継続計画（BCP）構築と課題の整理と題し、事業継続のために整備すべき13の視点から、事前準備段階、緊急・初動段階、事業再開段階における課題と内容についての解説をいただき、改めて、各組織での事業継続計画策定の重要性や作成された事業継続計画の定期的な見直し（検証）が必要な旨の説明がありました。

後半は、みやぎ生活協同組合の五十嵐桂樹専務理事スタッフを講師に、「東日本大震災におけるみやぎ生協の被害状況と事業継続計画」と題し、みやぎ生協の概要、東日本大震災でのみやぎ生協の被害状況、次から次へと起こる考えもしなかった事態、震災直後の取り組みや対応の教訓等について話されました。続いて、みやぎ生協の事業継続計画の策定にあたってのポイントやインフラ整備の状況、また、実際に作成した計画の構成や検証訓練の実施などについて報告され、最後には、震災を「忘れない」「忘れさせない」取り組みの大切さが語られました。

◆クロスロードゲームファシリテーター養成講座

日本生活協同組合連合会法務・危機管理室の水島重光氏を講師に、6つのグループに分かれ、まずは、糸魚川－静岡構造線（中部地震）の長野県内における震度やインフラ・通信・事業機能の状況などについて認識を深めました。

災害が発生するとその復旧までには、予測困難な様々な事象が発生し、その一つひとつについて意思決定をし、実行しなければなりません。この演習は、このような意思決定の岐路に立ったとき、組織の目標を達成するため、より効果的な判断ができるようにするためのもので、講座では、ゲームの進め方（目的、ねらい、進め方）の説明があり、用意された設問（10問程度）について、個人の考え、グループとしての考え方を整理し、そのプロセスを全体で共有しました。

日常的に手軽に出来る演習として、ファシリテーターを養成し、今後、会員生協に普及をさせて行きます。



日本生活協同組合連合会 法務・危機管理室 水島重光氏
みやぎ生活協同組合 五十嵐桂樹 専務理事スタッフ

